



市長からの手紙

45 川越の観光

正確な数字の報告を受けたわけではありませんが、平成26年は川越を訪れてくれた観光客の数が増加したという印象を抱いています。その要因は、平成25年3月に鉄道5社による相互直通運転が開始され、横浜から川越まで直通電車が走るようになったこと、ここ数年テレビ番組で川越が紹介される回数が増加していることなどがあろうかと。

また、東日本大震災、原発事故で減った外国人観光客がこの3年間でずいぶん回復し、むしろ震災以前より増加しているということもあります。実際、中国、韓国や東南アジアからの観光客がかなり増えているようです。

観光客が増加する礎は、昭和50年代初めから一番街の商店、住人の皆さんのグループが中心になって、古い蔵造りの建物を生かして、街のにぎわいを取り戻そうという活動を

進めてくれたことにあります。そして、時を同じくして、観光の傾向、観光客のニーズが変化し、団体でバスを利用して観光するという形から、少人数で(ときには一人で)観光スポットを回るのが主流になってきたことが、川越の観光客増加の大きな要因になっていると思います(観光について書かれた本の知識と私の記憶です)。

現在、観光客数は上昇傾向ではありますが、この状態がいつまでも続くという保証はありません。テレビで取り上げられる回数が減れば、観光客は減ると予想されます。また、最近では観光地でよく目にする店がまちなかでも見られるようになってきました。そのような店が増えるということは、にぎわい増加というプラス面がある一方、「川越らしさ」が薄れてしまうおそれもあります。

これからも川越を訪れる観光客の皆さんに、「良いところだ、また来てみよう」という気持ちを抱いてもらうためには、「おもてなし」の心を高めていくことが大切と考えます。2020年の東京オリンピックに向けて、市全体でしっかり取り組んでいかなければと気を引き締めています。

川越市長 川合善明

未来に向けて⑪

広域行政の推進

政策企画課 224・5503

近年、交通網の発達や情報ネットワークの整備により日常生活圏が拡大し、人々のライフスタイルや価値観が多様化してきました。また、少子高齢化や人口減少に伴い、地方自治体では、社会保障などの歳出が増加しています。さらに、15歳から64歳の生産年齢人口の減少等による歳入の減少により、厳しい行財政運営が続いています。こうした中、既存の市町村の枠を越え、独自性を生かしながら相互に連携した取り組みを進める「広域行政」が重要になっていきます。

川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町の7市町で構成される「埼玉県川越都市圏まちづくり協議会(通称、「レインボー協議会」)も広域行政の取り組みの一つです。

同協議会では、互いに連携・協力しながら自立した地域づくりを目指すため、レインボーまつりなどの事業による圏域住民の交流促進や、図書館などの公共施設の相互利用による利便性の向上を図っています。また、各市町の観光スポットなどを「レインボーおでかけマップ」(写真)で紹介しています。マップは、政策企画課(本庁舎4階)、観光課(本庁舎5階)で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。



圏内の公共施設を利用したり、観光スポットを訪れたりして、新たな魅力を発見してみませんか。



古谷地区の各団体が協力して行われる「親子あげ大会・防災教室」を紹介しします。この行事は、地域の交流を深め、防災意識を高めることを目的に開催される新年のイベントで、今年で11回目を迎えました。会場となった古谷小学校では、300人を超える小中学生やその保護者が参加。体育館では子どもたちが小江戸風の会の指導のもと凧作りを体験し、思い思いの絵柄を熱心に書き入れていました。



凧作りを終えた子どもたちと保護者が参加した防災教室では、スモークが炊かれたテントの中を手探りで通り抜けたり、AEDや水消火器の操作を体験したり、親子で熱心に取り組んでいる姿が見られました。

また、災害時を想定した取り組みとして、古谷地区でボランティア活動などを行っているグループによる炊き出しが行われ、参加者は、熱々のけんちん汁や、つきたての餅を食べて親睦を深めました。

このように古谷地区では自治会や団体が協力して行う事業に、子どもや保護者が多く参加することにより地域全体で連帯感を育み、安心して生活できる地域を創り出しています。

市民とともにつくる

安全で安心なまち川越

防災危機管理課 224-5554

避難情報について

台風の接近や集中豪雨など、災害が発生するおそれがあり、市民の生命・身体保護のため、特に必要がある場合に市では、避難情報を発令します。この避難情報には、避難準備情報・避難勧告・避難指示があります。

自然災害時には、予測できない事態が起こります。避難情報発令の際には、下表を参考に冷静な判断と、適切な避難行動をお願いします。

緊急度	発令の状況	必要な行動
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-right: 5px;">低</div> <div style="width: 20px; height: 100px; border-left: 2px solid blue; margin-right: 5px;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-left: 5px;">高</div> </div>	避難準備情報	今後、避難勧告に発展する可能性が高まった状況。人的被害発生の可能性が高まった状況
	避難勧告	人的被害発生の可能性が明らかに高まった状況
	避難指示	人的被害発生の可能性が非常に高い状況。または、一部で人的被害が発生している状況
		高齢者等の避難行動に時間を要する方は、避難行動を開始。他の人は、避難の準備を開始する
		通常の避難行動ができる人が避難行動を開始する
		直ちに避難行動を完了。時間がない場合は生命を守る最低限の行動をとる(屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動等)

ゴミ処理とぴつくす

穴を開けて安全!

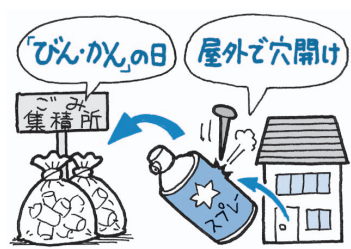
カセットボンベ・スプレー缶

資源循環推進課 239-6267

卓上コンロで使用するカセットボンベや、殺虫剤等が入っているスプレー缶には、可燃性のガスが含まれています。このガスが残っていたことが原因で、収集車両や清掃センターで爆発・火災事故が起こり、ごみの処理を妨げてしまうことがあります。そのため市では、排出時に「必ず中身を思い切り、缶に穴を開ける」ことをお願いしています。作業は、周囲に火気がなく、風通しの良い屋外等で行ってください。

穴をあけたカセットボンベやスプレー缶は、「びん・かん」の収集日に集積所へ出してください。

安全にごみを処理するため、カセットボンベ等の「穴開け」にご協力をお願いします。



ごみ出しの強い味方 「川越市ごみ分別アプリ」 配信!

収集日カレンダー、分別辞典など、ごみ出し情報を提供するスマートフォン向けアプリです。アプリは無料ですが、インターネット接続などにかかる費用は利用者の負担となります。

